

# 「平成二十八年度大阪私立総合体育大会弓道大会」結果報告

## 男子団体 初優勝！



### 全国私学大会の出場決定！

## 個人も2位浅田、4位伊藤と大健闘！

9月22日(木・祝)に、「平成二十八年度大阪私立高等学校総合体育大会第二十六回弓道大会」が行われました。団体戦は2立24射の総的中で、個人戦は8射5中以上で予選通過、射詰競射で順位を決定します。なお、上位4校には、来年3月に行われる「全国私学大会」への出場権が与えられます。

### ◆団体戦 昨年の屈辱を晴らす！

団体戦に本校からは男子4チーム、女子1チームが出場しました。男子Aチームは1年大本、森永、寺田、Bチームは2年曾山、浅田、伊藤、Cチームは2年古川、北井、3年西野、Dチームは1年増田、角野、女子Aチームは、2年吉岡、1年高橋、3年山本、補欠1年近藤のメンバーです。

1立目、1年生のAチームが大健闘の6中、それに引き換え主力のBチームは、曾山が前回の「大阪総体」同様まさかの0中で大ブレイクになりました。優勝どころか上位4校にも残れないのではというくらいの出遅れです。C、Dもパツとせず、昨年の悪夢が蘇りました。(昨年は優勝を狙える力がありながらまさかの惨敗、全国私学大会への出場を逃しました。)

2立目、1立目の上位チームが崩れ、本校にもチャンスが巡ってきました。10中以上が必要という厳しい条件の中、Bチームは意地を見せて堂々の10中で、他チームをゴボウ抜きして、浪速高校Bチームと並んで一気にトップに立ちました。不振の曾山は前回同様、2立目に頑張りを見せましたが、この立ち上がりの悪さをどうにかしないと、今後の試合では怖くて使えません。他のチームは、良く頑張りましたが、上位に食い込むことは出来ませんでした。しかし、1年寺田は8射5中とし、堂々の個人戦予選突破です。女子は、1立目5中と検討しましたが、2立目崩れ、上位入賞はなりませんでした。

優勝をかけた浪速高校との競射は、1本目両チームとも外すという情けない結果でしたが、仕切りなおしの2本目、本校が曾山、伊藤が的中で、2中対1中で優勝が決定しました。昨年、一人少ない2人しかいないチームにも負け、屈辱的な惨敗を喫した大会で、見事リベンジを果たしました。



## ◆個人戦 ハイレベルな戦い・・・

個人戦は、本校の2年浅田、伊藤、1年寺田の3名を含む18名が決勝射詰に残りました。競射1本目、寺田が外すも浅田、伊藤は的中、12名になりました。2本目、3本目、4本目と2人ともの中、5名に絞られました。5本目からは八寸的になります。前回の大阪総体もそうでしたが、八寸的に残る人数がここ数年に無いくらい多くなってきました。5本目、浅田が見事的中、伊藤は無念の脱落となりました。3人に絞られた6本目、浅田が外して脱落。浅田は2，3位決定の、伊藤は4，5位決定の遠近法での競射に回りました。結果、浅田、伊藤とも競り勝ち、浅田が2位、伊藤が4位に入賞しました。射詰の本数を考えると、順位以上に価値のある入賞です。良く頑張ったぞ！



大健闘！1年寺田



個人2位浅田



個人4位伊藤



私学大会は初優勝です。

## ◆お疲れ様でした。

この大会で、四期生にあたる3年生は完全に引退です。前回の大阪総体で引退した場口、今回の私学大会まで頑張った西野、山本、腰痛のため、思うような活動が出来ず後半は試合に出る事ができなかった安田。特に女子1人で頑張った山本は、本当に大変だったと思います。大阪城の試合で団体戦に出た事がなかったので、この私学大会まで頑張りました。最後の最後に団体として出場できて良かったと思います。みんな、本当にお疲れ様でした。今後はしっかり進路決定に向けて頑張ってください。



西野



山本



場口



安田